

快適な交通アクセスと豊かな自然が両立する街

恵庭市工業団地

北海道の政治・経済の中心である道央圏に位置し、札幌や新千歳空港、苫小牧港、小樽港、石狩港のいずれにも近いという地理的優位性は、恵庭市の大きな魅力の一つです。

1  **恵庭テクノパーク**
充実したインフラと快適なアクセスでビジネスチャンスを拡大します。

2  **恵庭工業団地**
高速道路沿いに位置し、恵庭インターチェンジが至近の交通アクセスが魅力です。

3  **戸磯・恵南工業団地**
当市工業団地の中で新千歳空港に最も近い場所に位置した工業団地です。

4  **戸磯軽工業団地**
JR恵庭駅のすぐそばにあり、市中心部に最も接近した工業団地です。

5  **島松工業団地**
主要幹線の1つ、道道江別恵庭線に接し、札幌方面への利便性に優れています。

6  **タクト恵庭流通団地**
主要幹線の国道36号に接し、交通利便性に優れた工業団地です。



7  **恵庭テクノパークエルク**
戸磯・恵南工業団地に接し、千歳方面への利便性に優れています。

8  **戸磯南工業団地**
国道36号に接し、サッポロビール庭園駅から徒歩1分。高いアクセス性が魅力。

恵庭市商工労働課のワンストップ・バックアップ



恵庭市では新たな企業進出や企業の拡張計画などに対応するため、商工労働課が窓口となり、企業と行政窓口との調整を図ります。

〈問合せ〉
恵庭市 商工労働課
TEL:0123-33-3131 FAX:0123-33-3137
shoukouroudou@city.eniwa.hokkaido.jp

恵庭市工業団地ホームページ

恵庭市では、市内工業団地のホームページを開設しております。工業団地内の空き用地の紹介、補助金等支援制度、工業クラブの活動状況についてご確認頂けます。



恵庭工業クラブ

恵庭工業クラブは、企業間の意思疎通や情報の共有化を図るとともに、地域経済・地域社会に貢献することを目的に昭和48年に設立されました。現在、恵庭市内の工業団地に立地する企業26社が加入しており、事務局は、恵庭市役所経済部商工労働課が担当しています。



工場見学会の様子

恵庭市工業団地

北海道恵庭市

City of Eniwa Hokkaido

お申し込み・お問い合わせ

恵庭市経済部 商工労働課

〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地

TEL.0123-33-3131 FAX.0123-33-3137

mail : shoukouroudou@city.eniwa.hokkaido.jp HP : http://www.eniwa-kougyou.com

2024.3.31





〈企業インタビュー〉 私たちが恵庭市に決めた理由

北海道恵庭市は道内最大の商圈・札幌市と、北の玄関口・新千歳空港の中間に位置する、人口7万人の都市です。市街地と隣接する工業団地には、数多くの企業、工場が立地しています。ではなぜ、各企業は恵庭市を選んだのでしょうか。恵庭市の工業団地で操業する8企業の代表者にお話を伺いました。



企業の皆様へ
北海道恵庭市は企業活動に最適な環境を提供いたします。
 恵庭市長 原田 裕

恵庭市長の原田裕(はらだ ゆたか)です。
 恵庭市は、北海道の中心部である日本海沿いの小樽市から札幌市を経て太平洋沿いの苫小牧市・室蘭市にいたる道央圏の中央に位置しています。
 新千歳空港をはじめ、道都札幌市、太平洋航路の拠点苫小牧港、日本海航路の拠点小樽港・石狩湾新港などがいずれも至近にあり、この地域に集積された産業インフラを最も効率良く活用できる恵まれた条件を持つとともに、道内各地から集まった優秀な人材や豊富な労働力の確保が容易であるなど雇用面においても優位性を有し、企業活動に最適な環境を提供することが可能となっています。
 加えて、本市は北海道の中でも水資源が豊かであり、本市をはじめ周辺3自治体に水道水を提供している「漁川(いざりがわ)ダム」が1530万㎡という水量を有するほか、恵庭岳でろ過された良質な伏流水を含む豊富な地下水が流れています。この豊かな水資源を求めて多くの食品関連企業が本市に進出しています。

さらに本市は良好な住宅環境を提供し暮らしやすく、道内で数少ない人口増加地域となっております。手厚い子育て支援をはじめ、農業の使用量を抑えた地元産のクリーン農産物、ガーデニングが盛んで花あふれる街並みなど、本市における健康的でうるおいある暮らしは、従業員の皆様に夢と希望を与え、道内で最も暮らしやすいまちであることが企業活動にとって大きなメリットになるものと考えております。
 本市では、進出される際の初期投資を軽減する助成金制度を整備しているほか、進出後につきましても、企業の皆様からの様々な相談などをお受けする窓口を一本化してきめ細かく対応するとともに、ビジネスチャンスの拡大に結びつく各種情報収集・提供なども積極的に実施しており、進出された企業の方々との良好な関係のもと末永いお付き合いができるよう努力しているところであります。
 こうした本市が有する優位性や企業誘致に対する熱意をご理解いただき、本市への進出を決断していただけるよう、全市全庁を挙げて準備を万端に整え、皆様とお目にかかれる日を心よりお待ち申し上げております。

サッポロビール株式会社 北海道工場

所在	戸歳・恵南工業団地 戸歳542番1	面積(㎡)	364,292	立地年	1989年6月
		面積(坪)	110,198		

工場立地の決め手は
 豊富な天然資源と、
 恵庭市民の熱意ある支援体制。



工場長 日比野 卓也 様

恵庭市に決めた理由

- 1 地域資源・インフラ
- 2 交通アクセス
- 3 行政・地元の熱意

潤沢な水と天然ガスパイプラインで 環境問題と省エネ対策にも対応

恵庭市に工場立地を決めた大きな理由に豊富な水資源があります。
 ビール製造にとって水はとても重要で、ビール1本つくるのに、その5倍から10倍の水を使います。ビールの原料となる醸造用水、タンクや配管、空びんなどの洗浄用水、ボイラーへの給水などにたくさんの水を使用しています。
 恵庭市は恵庭岳を源流とした潤沢な水資源に恵まれており、渇水による製造制限の心配がなく安定的に製造することができます。水質も淡色ビール(ピルスナータイプ)に適した軟水なので、ビール製造に向いております。工場では醸造用水として恵庭市の水道水を使い、洗浄や冷却にはる過した井戸水を使用しております。
 燃料に関しては、1989年の竣工当時はLPGを使用していましたが、天然ガスパイプラインが工場の近くを通ることをきっかけに、2000年には燃料転換を行いました。天然ガスは価格が安定していること、大気汚染の元となる硫黄酸化物がほとんど発生しないクリーンなエネルギーです。
 天然ガスを燃料とするコジェネレーションを導入し、発電した電気はビール製造工程などで利用し、排熱は給湯や蒸気に変換することで高い効率の省エネルギーシステムを構築しています。さらに、2022年より太陽光発電を導入し、1年間に工場で使用する電力の20%に相当する設計で一層の環境対策を進めています。

物流面においても主要マーケットである札幌圏に近く、国道36号や恵庭インターチェンジが近いので、道東・道北・道南いずれの方面にもアクセスができるという道内でも屈指の立地条件が魅力です。さらに、恵庭市は札幌市をはじめとする近隣エリアと比較すると降雪量も少なく、大雪で工場からの出荷が遅れるということがほとんどありません。

JR「サッポロビール庭園駅」は 市民の働きかけによって誕生

弊社が恵庭市への移転を公に発表したのは1986年、竣工の3年前のことです。当時は恵庭市長をはじめ恵庭市民の方々に誘致の段階から、いろいろと応援していただきました。また、JR「サッポロビール庭園駅」も恵庭市や地元企業、町内会の皆さんの働きかけにより、建設が決まりました。全国でも企業名が付いたJR駅は極めて珍しいもので、これもやはり地元の皆さんの力だと思えます。
 これからも恵庭市の皆様がビールを通じて新たな楽しみ、豊かさを感じていただけるよう、感謝を込めておいしいビールを造っていきます。

事業内容

ビール・発泡酒等製造。工場見学には道内外から多くの観光客が訪れる。見学後には出来たてビールの試飲も行える。



ウェルカムホール



見学_試飲会場



支社長 山中 久彦 様

全日本食品株式会社 北海道支社

所在	恵庭テクノパーク 戸歳47番9	面積(m ²)	45,990	立地年	2014年4月
		面積(坪)	13,911		

物流センターと支社機能を
恵庭市に集約しても、
物流・雇用面で問題なし。

恵庭市に決めた理由

1 交通アクセス

2 魅力的な工業団地

3 住環境

高速道路と3本の幹線道路を 使い分けられることが利点

北海道恵庭市に北海道支社と道央物流センターを集約したのは2014年4月のことです。以前は北広島市の食品センターと、札幌市清田区の北海道支社と分散していましたが、いずれも老朽化が進んだため数年前から新しい配送センターを探していました。その際、土地の広さと価格面で希望条件に合ったのが恵庭市でした。現在、土地の広さは約14,000坪で、裏手にはまだ、6,000坪ほどの土地があり、まだまだ拡張能力があるのも気に入っています。移転の際には、補助金などの支援制度の面で恵庭市に今までにないほど熱心な応援をいただいたのも決め手のひとつです。

支社機能と物流センターを集約したメリットは、施設間の商品移動が無くなったことと、管理コストを抑えられたことがあります。その他、社内間コミュニケーションも良くなりました。食品業界は年末の10日間が繁忙期で、通常の約3倍の商品を配送しますが、配送センターで人手が足りない時には、支社から事務職がすぐに駆けつけたりもします。

北海道全域で全日食チェーンの加盟店は105店舗、提携店は117店舗。この222店舗に対して1年365日、商品を送っています。この道央物流センターは、道央・道北を拠点とする一番大きな配送センターです。その他、釧路には道東の物流拠点となる配送センターがあり、旭川市、道南の森町、札幌市手稲区にチルドセンターがあります。恵庭市ではドライ系の加工食品と生鮮品を一括で処理しており、加盟する各店舗で

扱う全ての商品を管理しています。また、各センター間で商品を移動・組み合わせ、それぞれが基点となっている加盟店へと配送します。ちなみに、恵庭市の配送センターでは1日20台のトラックが行き交います。陸路に関しては全道を対象に配送しているため、高速道路の他に、国道36号、国道274号、道道江別恵庭線の3本の幹線道路があり、状況によって使い分けができるのが利点で、混雑時などのリスク回避にもなることを恵庭にきて実感しています。実際に道東方面や道南方面などの長距離に関しては、以前よりも30分ほど配送時間が短縮されています。

工業団地と住宅地が近接、 雇用確保に大きく貢献

弊社には恵庭市内在住のパートが約130名おり、商品の仕分け作業や生鮮食品のバック詰めを行っています。パートは女性がほとんどでしたが、最近では男性も多く働いてくれるようになりました。近年、工業団地の他社施設が増加し、更に千歳へのラピダス進出などにより、これまでの安定した働き手の確保が難しくなっています。職場環境の改善や、様々な求人媒体を利用し従業員の確保が大きな課題となりそうですが、恵庭市工業団地は住宅地と近接していることが他の工業団地と異なる利点で、徒歩、自転車、電車、車など、とても通勤しやすい環境にあります。道外の人間からみても札幌市などよりも土地が安く、交通の便も札幌都心まで高速道路を使わなくても45分で行けるので、恵庭市は思ったほど不便ではありません。

事業内容

食品・飲料水卸業。恵庭市の配送センターではドライグロッサリーと肉、魚、野菜、果物などの加工・バック詰めを行う。



全日本食品株式会社 北海道支社



店舗ごとに商品を仕分けし配送



恵庭では1日20台のトラックが配送を行う



事業所長 米田 浩一 様

株式会社 京都セミコンダクター 恵庭事業所

所在	恵庭テクノパーク 戸歳385番30/戸歳385番31	面積(m ²)	22,845	立地年	1992年9月
		面積(坪)	6,909		

災害リスクが少なく
アクセスと人材雇用も満足。
最適な環境が揃う恵庭市。

恵庭市に決めた理由

1 交通アクセス

2 人材確保

3 自然災害からの
リスク回避

札幌圏や新千歳空港に近く 新卒・既卒の優秀な人材も雇用

1989年、京都本社以外に初めて事業所を開設したのが北海道上砂川町でした。きっかけは京都の工場が手狭になり、京都以外での工場進出を考えたことです。その後、事業規模拡大に伴い、1992年に恵庭市に事業所を開設しました。恵庭市を選んだのは札幌圏や新千歳空港に近い交通アクセスと、技術職や管理職の人材雇用が容易だということからです。

現在、恵庭事業所の開発センターでは光半導体デバイスと球状太陽電池の研究開発・製造をしており、国内から海外まで幅広い地域に製品を出荷しています。弊社の製品は荷がコンパクトなので空輸が主となります。そういう点では新千歳空港に近いのは最適でした。

人材雇用に関してですが、北海道には製造業が少なく、なかでも半導体メーカーはほとんどないので、北海道大学や室蘭工業大学、北見工業大学などの優秀な人材を雇用できます。さらに、既卒でも東京や関西からのUターン就職希望者が多く、有能な技術経験者を雇用できるチャンスもあります。現在、恵庭事業所には派遣社員も含めて110名の社員が勤務していますが、京都本社から来た社員は4、5名の管理職でそれ以外はほとんどが道内採用です。

自然災害が少なく、 地震による被害もゼロ

恵庭市の工業団地に決めた理由は、その他にもたくさんあります。たとえば、恵庭事業所では開発センターを設け、商品の研究開発から生産まで一括して行う製造拠点をしたいと考えていたので、最低限必要な広さ以上の十分な用地を確保することができました。今では隣の空き用地も買い、所有地も広がっています。

その他にも、豊富な水資源、澄んだ空気などの環境条件が揃っていたのも有力な決定材料となりました。北海道に進出した当時は検討の余地にも入っていませんでしたが、自然災害が少ないのも好条件となっています。半導体メーカーは震度5以上の地震によるコンピュータの損壊や設備の崩壊が一番怖いのですが、恵庭市の地盤は安定しており、平成30年9月の北海道胆振東部地震の震度5強でも損害はゼロでした。また、恵庭市は、上砂川事業所と比較すると雪が少なくコスト的にも抑えられます。今となっては北海道恵庭市に進出して本当に良かったと感じています。

最後に、恵庭市の市長をはじめ職員の皆さんには力になっていただいています。地元の方々が弊社をご理解いただき、応援していただけるのは心強いです。

事業内容

発光ダイオード、光半導体研究開発及び製造。京都、東京、北海道、米国シリコンバレーに活動拠点を広げ、現在では東南アジアでの市場も拡大している。



株式会社 京都セミコンダクター 恵庭事業所



半導体チップの外観検査の様子



半導体チップの製造作業の様子



代表取締役 高畑 年伸 様

エム・エス・ケー農業機械株式会社

所在	恵庭テクノパーク 戸磯193番8/戸磯193番14	面積(m ²)	16,978	立地年	2012年8月
		面積(坪)	5,134		

北海道内全域への高いアクセス性、
地理的条件による
自然災害の低さが魅力。

恵庭市に決めた理由

1 交通アクセス

2 住環境

3 自然災害からの
リスク回避

東京都池袋と埼玉県上尾市にあった 本社機能を北海道恵庭市に集約

2012年に東京都池袋から恵庭市に本社を移転しました。それまでは、弊社が取り扱う農業関連機械を保管したり、組み立てたりする技術本社が埼玉県上尾市に、営業系と管理系を統括する本社が東京都池袋というふうに、本社が2箇所に分離されていましたが、東京のビル街の真ん中に本社を置く必要性も乏しく、マーケットからの距離感も離れていったため、集約すべきと判断しました。集約するにあたり栃木県や埼玉県など、さまざまな候補地が挙がりましたが、最終的には弊社の主力マーケットであり、農業でも日本全国のレベルでかなり先進的な北海道に移転することに決めました。一方で、北海道では大型の農業関連機械が売れ、本州では中小型の農業関連機械が売れる傾向にあるので、配送の面でも大型機械は苫小牧港で荷揚げしてしっかり組んで整備をし、道内各地に配送した方が、一部内地に配送したとしても全体的にみると安いという面もありました。

本社機能を集約したことによるメリットは、経営陣や本社メンバーのコミュニケーションが良くなり、意思決定が早くなったこと、支社・営業所などの現場との距離が近くなり一体感が向上したこと、モノの輸送やヒトの移動の頻度が上昇したことがあります。これは、高速道路のインターが近く北海道内各拠点への陸上移動が容易、新千歳空港が近く各地への空路移動も便利、札幌までJRで約24分という交通の利便性が大きいと思います。

東京時代よりも家賃は安く通勤は快適。 自然災害のリスクも低く安心

移転当初、恵庭本社に勤務する社員は約70名（現在は約100名）おりましたが、その中で東京方面から移住した社員は約50名です。当時の様子を聞いた話では恵庭市に移転を決めた時の社員の反応は全員が「恵庭ってどこ？」というイメージがあって驚いていたそうです。札幌なら街から街なので不安は無かったのですが、最終的には家庭の事情があるもの以外は腹を括ったそうです（笑）。しかし、実際に家族を連れて恵庭に移住した社員からは花のまちづくりを活かした街並みや、質の高い子育て環境など恵庭の住み易さも好評です。どうやら、社員からすると寒さよりも北海道がもの凄く遠いと感じていたようです。ただし、私を含めて、「北海道への憧れ」はあったと思います。自然もきれいで、美味しいものもあり、旅行先でもあるなど、その思いはここに来て裏切られていません。東京から来た社員は、恵庭と千歳、新札幌に分散して、マンションを借り上げた社宅に住んでいますが、家賃は東京近郊で借りるよりも遥かに安いです。通勤も恵庭市内なら車で5分から10分で通えますし、千歳市からでも20分あれば着きます。新札幌の社宅は電車通勤の社員が住んでいますが、15分でここまで来られるので、東京の時の通勤と比べると楽です。

最後に、恵庭市に移転集約して良かったなと感じていることが2つあります。ひとつは、移転するにあたり、どの地域も一長一短ありますが、恵庭市が熱意を持って迎えていただいた「縁」が、移転を決めた判断材料になっています。おかげさまで、補助制度も利用できましたし。そしてもうひとつが、自然災害のリスクに対する評価です。地震に対する耐震性が高く用地も広いので、火災などで被害が拡大することもなく津波の影響もありません。大雨が降っても崩れる山がなく台風も減減に来ません。そのように考えると、恵庭市は自然災害に対する耐性は非常に高いと言えるのではないのでしょうか。

事業内容

農業機械の販売・修理。
北海道恵庭市には本社機能があり、北海道から九州まで38の支社・営業所で日本全国を結んでいる。



エム・エス・ケー農業機械株式会社



倉庫内では大型のトラクターなどを保管



工場内で製品の組み立てや整備が行われている



執行役員 恵庭工場長 北岡 正吉 様

サンマルコ食品株式会社 恵庭工場

所在	恵庭テクノパーク 戸磯201番12	面積(m ²)	24,002	立地年	1992年11月
		面積(坪)	7,260		

交通アクセス以外にも、
人材雇用の面でも
恵庭市の立地条件は最適。

恵庭市に決めた理由

1 交通アクセス

2 人材確保

3 住環境

北海道の原材料を仕入れて生産加工する 中継地点として恵庭市は最適

札幌市外で最初に工場を建てたのが恵庭市でした。理由としては北海道各地の原材料を集め生産加工するには恵庭市が最適だったからです。たとえば、弊社の主力商品『北海道の味男爵コロッケ』の原材料である男爵いもは羊蹄山麓産を使用していますが、羊蹄山麓から原材料を仕入れて生産加工し、日本全国へ商品を出荷するには、恵庭市が中継地点として便利なのです。物流はトラック輸送が主力ですが、恵庭市は苫小牧港や新千歳空港にも近いので、本州や海外への商品出荷も容易にできます。交通アクセスに関してはとても利便性がある都市だと感じています。

現在、北海道には恵庭市と札幌市以外にも網走に津別工場があり、各工場が決まった品目を製造しています。しかし、津別工場の物流はやはり不便なので、コントロールは本社のロジスティックで行い、恵庭工場を中継地点として効率よく商品を全国各地へ出荷することもあります。恵庭市は雪も少なく交通の乱れが少ないという利点も大きいですね。

恵庭市に決めた理由は物流以外にも要望に叶った土地の広さが確保できたことや、人材の確保も大きな理由でした。恵庭工場には社員70名、パートさん130名、派遣さん80名が勤務しています。パートさんに関しては、夜間勤務は派遣会社に依頼していますが、日中勤務は恵庭市内全域や千歳市などの近隣に住む主婦で十分

確保できています。これは、勤務時間をいくつかのパターンに分け、働きやすい時間帯を選ぶようにした結果です。津別工場では、周辺に水産関係や農業関係が多く、繁忙期になるとそちらに人材を取られますが、恵庭市はサラリーマンの家庭や子育て世代の主婦層からの応募があるので、通年人材に悩むことはありません。

北海道のブランド力をひと言で表現すると 「北海道のものはおいしい!」ということ

弊社は北海道産の原材料にこだわった良質なおいしさを追求した商品を開発・製造していますが、北海道のブランド力とはひと言で表現すると「北海道のものはおいしい!」ということ。例えば当社の津別工場ではクリームコロッケを製造していますが、使用するペシャメルソースには直接農家から生乳を仕入れて、自社工場で加熱殺菌した牛乳を使用しています。

原産地から直接仕入れて自社加工で販売することは都会ではありえません。本州の企業が北海道の原材料を仕入れるには物流コストがかかります。しかし、地場であれば全道の原材料が数時間で仕入れることができます。北海道各地の豊富な原材料へのアプローチがよいことは、味やコスト面でも本州と比較しても有利です。その点でも恵庭市は一番良い位置にあると思います。

事業内容

食品製造業。「おいしい北海道をもっとおいしく」を企業ポリシーに原材料から製造、出荷まで一貫体制でおいしさや安全・安心を追求している。



サンマルコ食品株式会社 恵庭工場



主力商品『北海道の味男爵コロッケ』



恵庭工場では「ISO22000」を取得



代表取締役社長 益山 利二 様

北新金属工業株式会社

所在	恵庭テクノパーク 戸磯345番24	面積(m ²)	33,869	立地年	2011年8月 本社工場移転
		面積(坪)	10,245		

恵庭市の最大の利点は、
陸・海・空の交通アクセスと
ものづくりに適した優秀な人材。

恵庭市に決めた理由

1 交通アクセス

2 人材確保

3 魅力的な工業団地

物流に関しては国内や海外、 どの地域にも快適に届けられる

新庄金属工業グループは北海道恵庭市に北新金属工業株式会社、大阪府東大阪市に新庄金属工業株式会社の2社があります。立场上、恵庭市と東大阪市を行き来することが多いのですが、移動する度に恵庭市の交通アクセスは快適だと感じています。例えば新千歳空港から恵庭駅まではJRで13分、駅から弊社まで車で5分の近さです。これは東大阪市から東北に行く時と比べても圧倒的な早さです。「北海道は遠い」とよく言われますが、時間と距離は予想以上に短いんですね。今の世の中は、実際の距離よりも時間的距離で判断すべきなので、そう考えると本州と恵庭市は全然遠くありません。物流に関しても弊社は原材料として月に真鍮棒を約150トン、鉄の棒を約30トン仕入れ、近畿、関東、東海などの国内から、中国、タイなどの海外まで製品を出荷しています。恵庭市は苫小牧港やJR貨物、新千歳空港に近く、飛行機、船、鉄道を利用できるのが利点です。

恵庭市は降雪量も少なく積雪量も多くありませんから、弊社が出荷した製品の遅れによって取引先の製造ラインを止めたなどということもありません。通常の物流はJR貨物ですが、いざという時は船や飛行機での輸送に切り替えることができます。このように3種の配送手段が取れるので、物流に関しては日本国内や海外など、どの地域と取引をしてもきちんとして、納期を守ることができるように届けられるのが強みです。

北海道はものづくり企業が少なく 優秀な新卒社員を雇用しやすい

恵庭市と東大阪市の新卒雇用で比較すると、東大阪市は産業の集積地なので優秀な人材は取り合いになります。しかし、北海道は本州と比べものづくりの企業が少ないので優秀な学生を集めやすい環境にあると思います。私が注目しているのは工業系の高等専門学校です。北海道には苫小牧高専、旭川高専、釧路高専、函館高専などがありますが、卒業生の約7割が本州に就職してしまいます。やはり北海道にはものづくりの企業が少ないというのが理由だそうです。ですから、恵庭市に関しては優秀な学生をスカウトしやすいのは間違いないでしょう。ちなみに、現在、東大阪市にある新庄金属工業に勤務している工場長と製造課長は恵庭市の北新金属工業に勤務していた社員です。東大阪市の方が利益率も良く業績も伸びていますが、その業績を牽引しているのが恵庭市出身の人材なのです。私は北海道の方々は、ものづくりの基本である「決めたルールの中で業務をコツコツ真面目に行う」ということに秀でていていると思っています。その点では、北海道の方は製造業などのものづくりに適していると思います。

最後に、恵庭市工業団地に立地したメリットは土地を大規模に購入できたことです。2014年には第二工場、2016年には第三工場を建設し、自動車部品の増産対応や半導体装置部品の生産も開始しています。「恵庭の地で100年企業を造りたい」という思いで操業しています。

事業内容

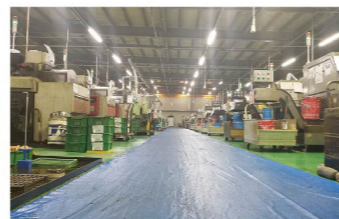
製造業(自動車部品製造)。
同社では独自開発の「全自動検査機」を作成。取引先の製品に合わせた仕様で、道内の高等専門学校から採用した新入社員が製造している。



北新金属工業株式会社



独自開発の「全自動検査機」



まだまだ増設が可能な広い工場内

レンゴー株式会社 北海道事業部 恵庭工場

所在	恵庭テクノパーク 戸磯193番3	面積(m ²)	107,718	立地年	1999年1月
		面積(坪)	32,641		

恵庭市の移転が、
企業イメージのアップに貢献

恵庭市に決めた理由

1 地域資源・インフラ

2 交通アクセス

3 魅力的な工業団地



工場長 谷 芳男 様

1909年、日本で初めて段ボール事業を創始した当社(本社・大阪)は現在、国内に製紙工場5カ所、段ボール工場26カ所を設置し、段ボールを中心にあらゆる産業の包装ニーズに応えています。

北海道へは1941年に進出、2年後の1943年に工場を設置。1964年に札幌市白石区に札幌工場を竣工して操業を続けてきましたが、事業拡充に伴い広い敷地が必要となり1999年、恵庭市の「恵庭テクノパーク」に移転し、工場名を現在の恵庭工場に改称しました。

移転にあたり私たちが目指したのは環境負荷の少ない工場の実

現でした。恵庭テクノパークには燃焼効率が良くCO²排出が少ない天然ガスがすでに供給されていたので、当社工場の中で最も早く環境に優しい天然ガスボイラーを採用できたのをはじめ、7000本を超える植樹を行って緑あふれる敷地としたほか、社員食堂の献立も地元産食材を使用した地産地消メニューを主体とするなど、エコを意識した設備やシステムを細部にわたって導入しました。

訪れる人はクリーンな工場環境に例外なく高い関心を示し、企業イメージのアップに大きく貢献しています。

株式会社 堀川 北海道事業部

所在	恵庭工業団地 北柏木町3丁目89番	面積(m ²)	32,892	立地年	1971年10月
		面積(坪)	9,949		

創業100年の老舗が選んだ、
恵庭市の良質で豊富な水資源。

恵庭市に決めた理由

1 地域資源・インフラ

2 交通アクセス

3 行政・地元の熱意



事業部長 谷口 正一 様

当社は大正13年に水産ねり製品の製造業者として新潟県で創業して以来、「蒲鉾の堀川」として消費者の皆様から親しまれてきました。北海道に進出した昭和38年当時は、生の原魚(すけそうだら)から蒲鉾を製造しており、原料への近さを求めて稚内市内に工場を新設いたしました。しかし、加工技術の向上により、海上でのすり身加工により内陸部での生産が可能になったことを機に、原料を冷凍すり身に変え、陸路を通じて入手する時代になると、高速道路への交通アクセスが良いことや、札幌市をはじめ道内各地の消費地に近いことを考慮し、昭和46年に恵庭市へ移転しました。

また、何より、蒲鉾づくりに欠かせない良質な水資源が豊富であ

るということも恵庭市への進出の決め手となりました。

恵庭市への進出から40年が経ち、工場も老朽化していたこともあり、商品づくりにおける衛生面、環境面、作業面の効率化と管理強化を目的に、安全・安心はもちろん、人と環境にやさしい工場をコンセプトに平成25年に建替えをいたしました。建替えの際には、既存企業の増設にも適用可能な助成制度を利用できたことや、従業員の通勤のためにJR駅への近接性が恵庭市で操業する上で大きなメリットだと改めて感じました。

これからも安全・安心・健康に配慮した商品作りに努力し、おいしく健やかな食生活を提案していきたいと考えています。

住宅と工業団地が隣接、働きやすく住みやすい

コンパクトな街、恵庭市

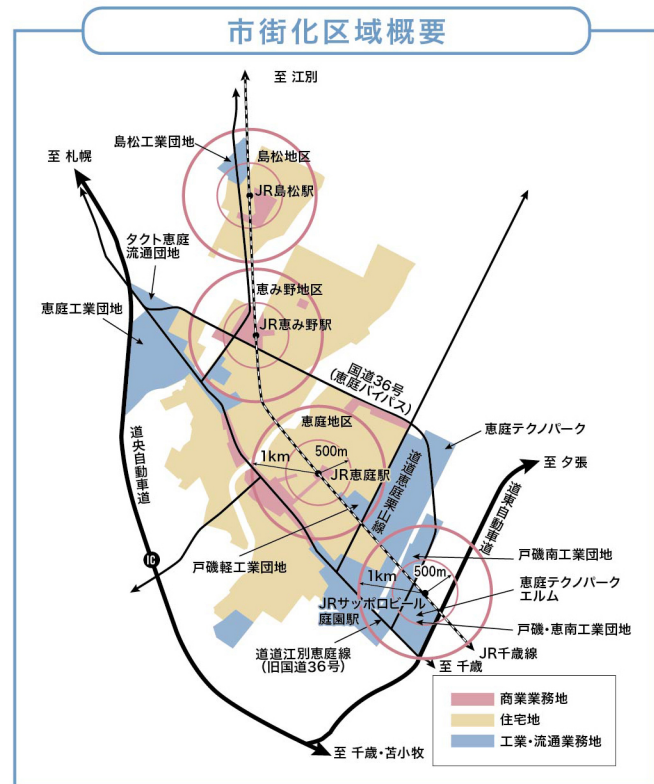
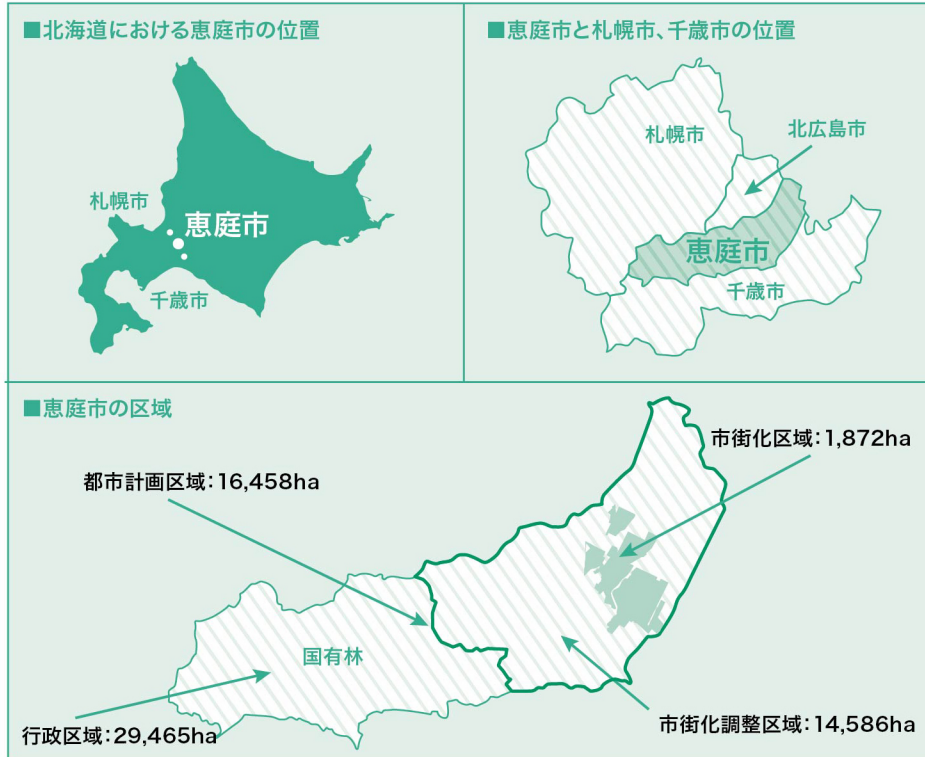
恵庭市は恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を持つまちで、早くから住宅地整備を進めると共に、道路、公共下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備が進められてきたことから、着実に人口が増えてきました。

恵庭市概要

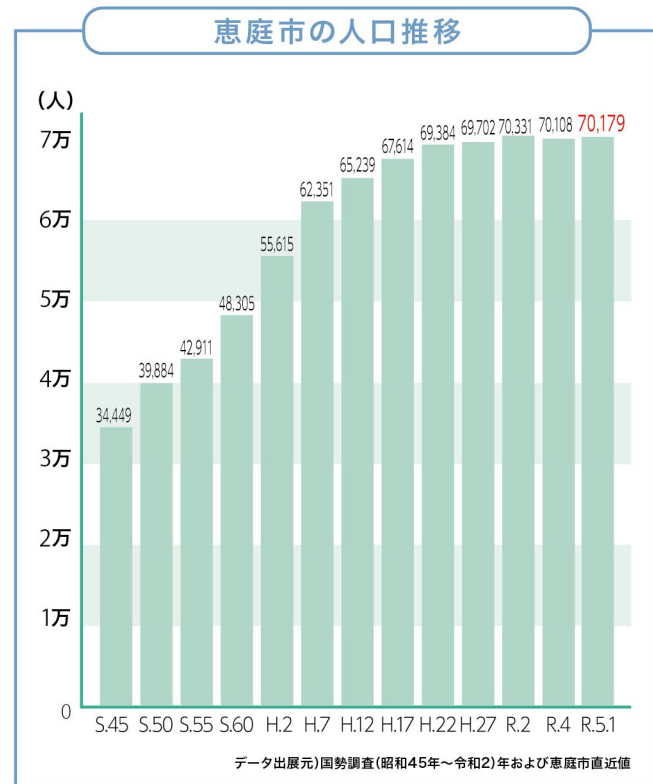
人口 70,179人(男34,178人・女36,001人) (令和5年1月1日)
世帯数 34,881世帯(令和5年1月1日)
面積 294.65平方キロメートル ※道内の他市と比較すると札幌市(約1,121平方キロメートル)の約1/4、千歳市(約594平方キロメートル)の約半分、北広島市(約120平方キロメートル)の約2.5倍
役場開設年 明治30(1897)年7月15日、漁村一村(島松村)戸町役場開設。
市名の由来 アイヌ語の「エエニイワ」(現在の恵庭岳を指し、鋭くとがった山という意)から転がされてきたと言われています。



市章
 漁川・島松川の2つの川の流域に位置する恵み豊かな地域を表し、組み合わせられた輪郭の線は、2つの流れを型取っている。また、2つの輪は「庭」に通ずるところから、中心の「恵」とともに市名を表している。(昭和36年9月1日制定)



令和6年4月1日時点



札幌と新千歳空港の間に位置する絶好のロケーション

恵まれた交通アクセス

北海道最大の商圏である札幌市を中心とした陸路、苫小牧港と小樽港、石狩港の3航路が活用できる海路、新千歳空港による空路。この充実した交通網を最大限に活かせる立地条件にあるのが恵庭市です。道内各地からの原材料搬入や本州・海外への製品搬出なども容易なため、物流拠点としても機能を発揮することができます。

1 道央圏の大動脈である国道36号や高速道路が市内を通過、道内各都市と連絡

恵庭市の街の中央を通り札幌から室蘭までを直線で結ぶ国道36号や道道江別恵庭線、東には恵庭I.C.があり道央自動車道が通っています。恵庭I.C.は市の中心から5分程度の距離にあります。

2 札幌まで快速で24分、道内各地への大量輸送もスムーズ

恵庭市は鉄道も充実しており、快速列車で札幌から24分、新千歳空港から13分と通勤にも利用されています。また、道内の主要都市を結ぶ貨物路線の物流拠点にも適しており、道内各地からの大量輸送も可能です。

■道内主要都市までの高速道路と所要時間



■道内主要都市までの貨物鉄道網



都市	高速道路利用時	都市	高速道路利用時
函館市	約3時間52分	釧路市	約4時間11分
帯広市	約2時間30分	稚内市	約5時間18分
北見市	約4時間33分		

3 苫小牧港、小樽港・石狩湾新港ともに近く効率的な物流を実現

恵庭市は太平洋航路の拠点・苫小牧港まで30km、日本海航路の拠点・小樽港まで60km・石狩湾新港まで50kmの距離にあり、本市から各港とも高速道路で結ばれています。苫小牧港は北アメリカやアジアを結ぶ国際コンテナ航路が開通されスムーズな海外輸送が可能です。また、小樽から高速フェリーが就航しており(小樽～舞鶴間)、国内輸送の利便性がいっそう向上しています。

4 新千歳空港まで15km、東京～恵庭まで約103分

恵庭市から「北海道の空の玄関口」新千歳空港までは直線距離にしてわずか15kmという至近にあり、本州各都市から新千歳空港経由で本市までの所用時間は東京約1時間30分、名古屋約1時間40分、大阪約1時間45分という短かさです。また、新千歳空港は韓国、中国などのアジア圏をはじめとする海外定期便を多数開設、国内および海外にも快適にアクセスできます。

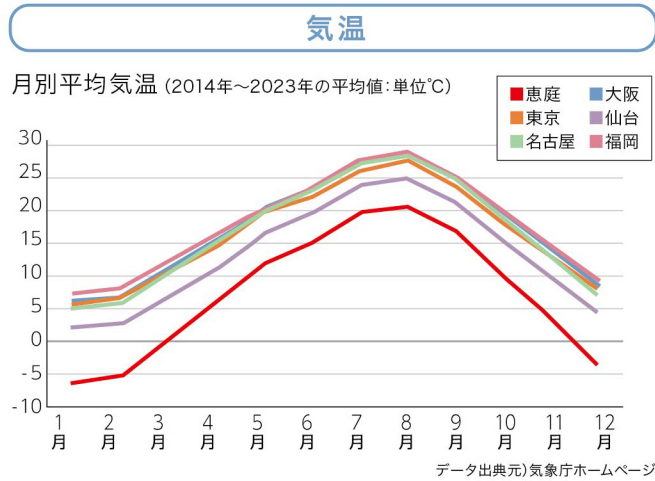
夏は涼しく冬はおだやか

本社移転・支社機能等の集約に最適

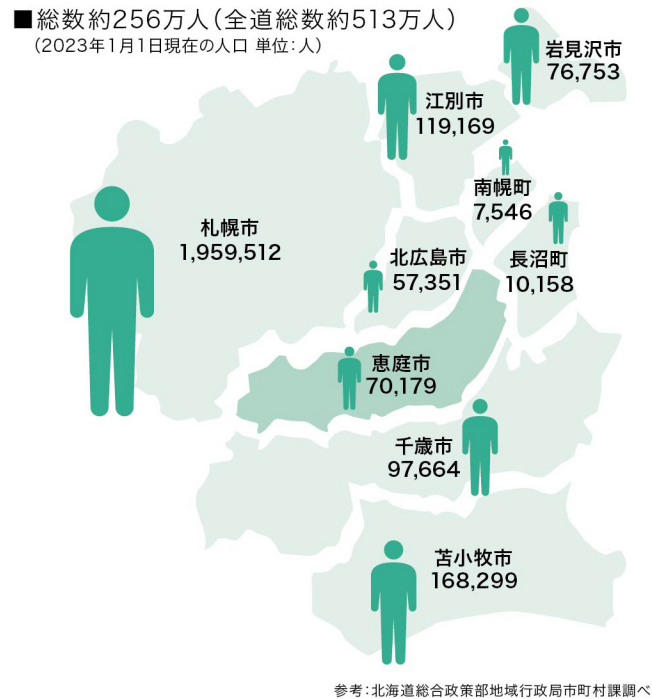
恵庭市は他の国内主要都市と比べると、年間降水量が少なく夏は冷涼な地域です。加えて、冬の降雪量も北海道内の他地域より少なめであることから、年間を通して暮らしやすい気候です。

1 冷涼低湿度で快適な気温

年間の平均気温が約 7.5℃ほどであり、他の都市と比べても1年を通して快適に過ごすことができます。また冷涼な気候は、夏季における冷房/室温調整のコスト削減に大きく貢献します。

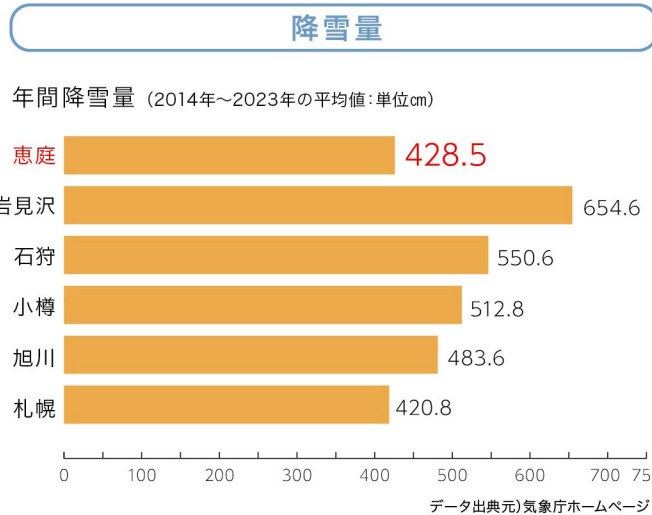
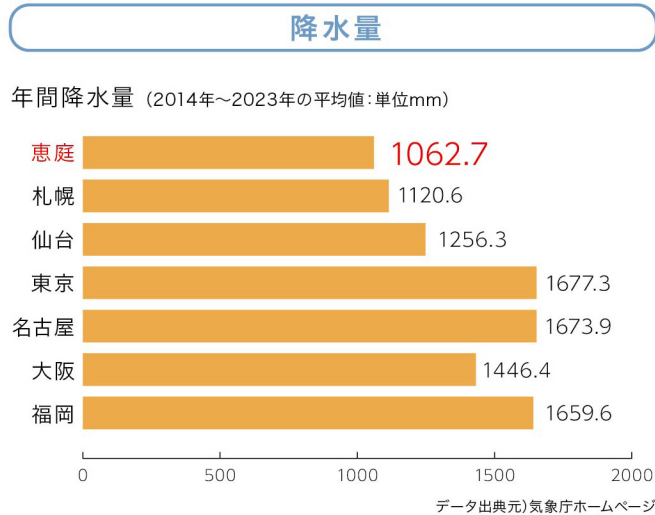


恵庭市周辺都市の人口



2 少ない降雨・積雪量で水害・雪害も安心

恵庭市の年間降水量は国内主要都市よりも少なく、大雨や長雨による災害は近年全く発生していません。また、湯水による水不足が発生することはありません。降雪量に関しても道内主要都市の中では比較的少なく、また万全な除雪体制により積雪・降雪による大きな交通障害の予防に努めています。



北海道の農水産物とクリーンな天然資源を活用

食品関連事業に最適

道内各地へのアクセスが容易な恵庭市は、北海道各地の様々な農水産物の集約にも有利です。また、水や天然ガスなどの資源を安定して利用できる環境も整っています。

1 北海道は我が国最大の食料生産地域

北海道のカロリーベースの食料自給率は223%。100%を超えているのは東北を中心とした5県のみとなっています。

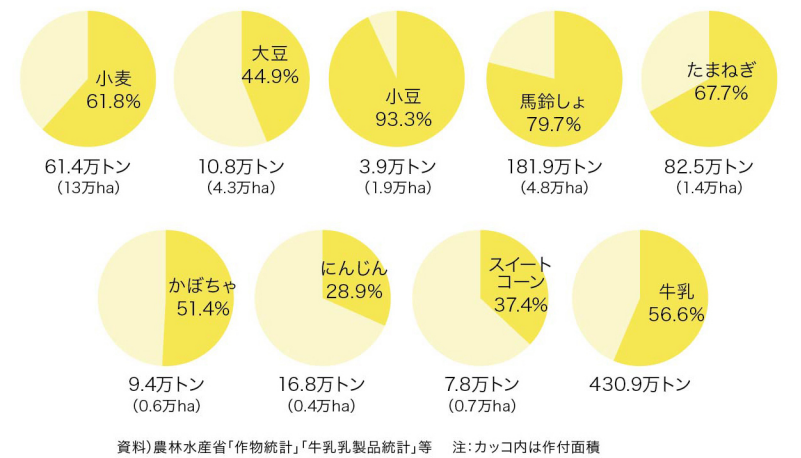
また、生産量全国一の農産物が数多くあることから、北海道は我が国最大の食料生産地域として、食料の安定供給に貢献しています。

■北海道と主な都道府県の食料自給率 (令和3年度 概算)

	食料自給率(単位:%)	
	カロリー	生産額
全国	38	63
北海道	223	220
青森	120	240
岩手	108	197
秋田	204	138
山形	147	175
新潟	109	100
宮崎	64	286
鹿児島	79	271

資料:農林水産省「食料需給表」

■北海道が生産量全国一の主な農産物 (令和5年度)



2 高品位の水資源

漁川から取れる水は非常に水質が良く、恵庭市を含む石狩管内の多くの自治体へ、上水道用に給水されています。また恵庭岳を源流とする良質で豊富な地下水も取水可能であり、水資源には非常に恵まれています。

漁川からの取水状況



石狩東部広域水道企業団 計画供給水量 (単位: ml/日)

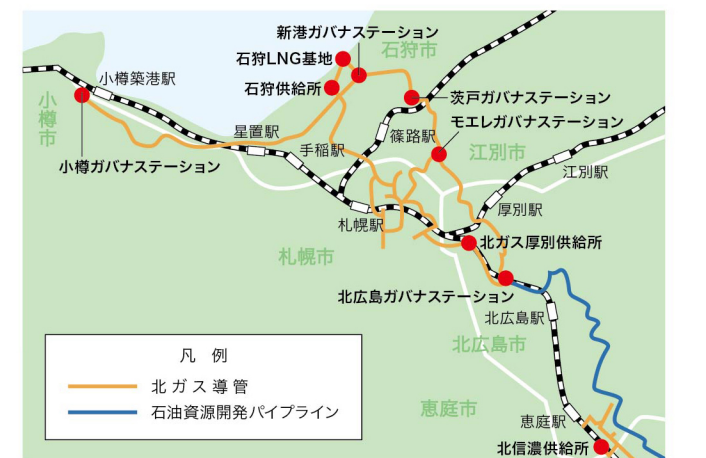
団体名	江別市	千歳市	恵庭市	北広島市	由仁町	長機上水道企業団	合計 (計画最大水量)
漁川浄水場	20,000	4,000	24,000	24,000	—	—	72,000
千歳川浄水場	100	11,900	6,400	2,800	3,500	3,000	26,480
合計	20,100	15,900	30,400	26,800	3,500	3,000	98,480

※石狩東部広域水道企業団のHPより。千歳川浄水場は、各受水団体の水量ピーク年次と当企業団の目標年次がそれぞれ異なるため、各受水団体のピーク水量合計と当企業団の計画最大水量は異なる

3 クリーンな天然ガスを供給

恵庭市を含む道央圏では、平成14年より苫小牧市の勇払ガス田からパイプラインで天然ガスが供給されています。天然ガスはCO₂の排出が少なく、供給安定性に優れたエネルギーです。また価格安定性に優れている点も、大きな魅力です。

道央圏の天然ガス・パイプライン概略図



資料)北海道ガス「道央圏における天然ガスのパイプラインイメージ」

地震などの自然災害が少なくリスク分散も可能

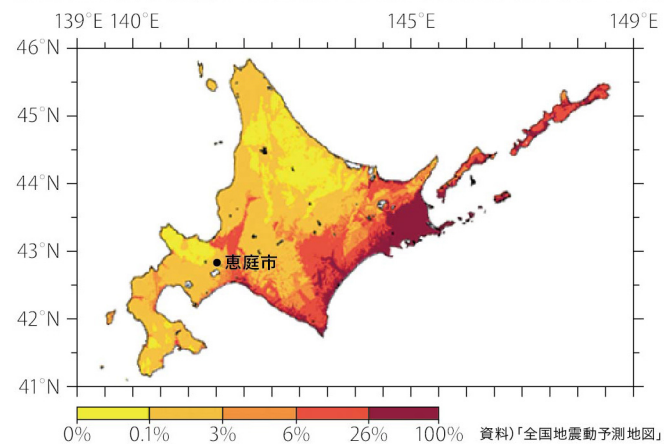
「ものづくり」に最適

恵庭市は地震をはじめ台風や津波、雷などの自然災害が少ないため、災害リスクの分散を目的とした立地にも適しています。また、恵庭市内や周辺市町村には多くの教育機関があることから、多様な人材を確保する機会にも恵まれています。

1 観測史上震度5以上の地震は「1回」

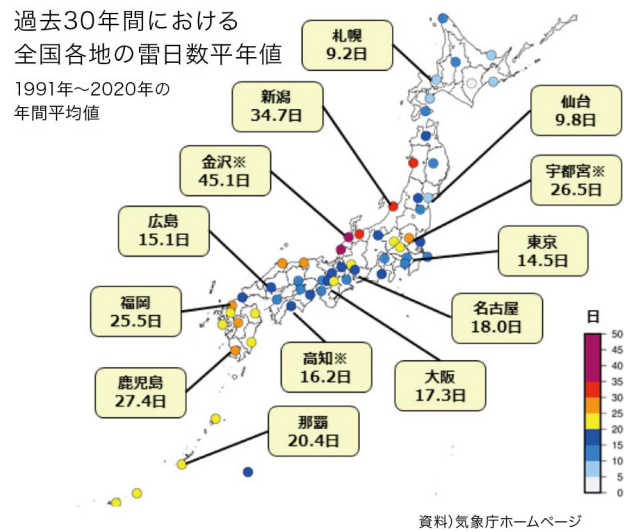
恵庭市は東京都などの首都圏と比較すると、地震の発生回数そのものが少なく、震度5を超える地震発生の記録は「北海道胆振東部地震」のみで、地理的条件等から近隣市と比べても少ない被害で済みました。また震度3～4の中程度の発生回数も少ないエリアなので、地震の回避地として最適です。

北海道地震予測図 30年以内に震度6以上の揺れに見舞われる確率の分布図(全ての地震)



2 落雷が少なく電力供給も安定

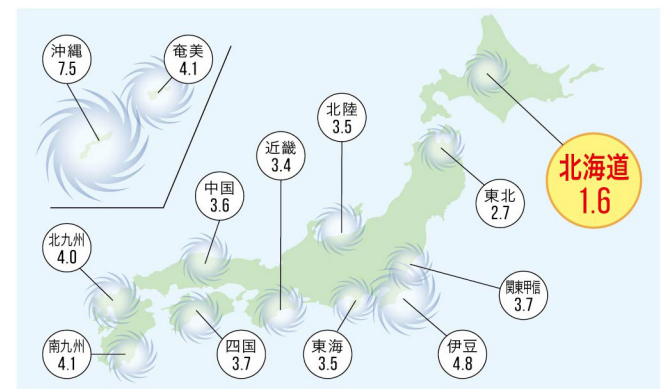
「ものづくり」において操業停止の危険因子となる落雷に関しても、北海道は他都府県と比較しても発生率が少なく、安定した電力供給を見込むことが出来ます。



3 上陸数も少ない台風

北海道は全国的に見ても、台風による被害がごく少ない地域です。北海道へ上陸する前に勢力が弱まり、温帯低気圧に変わるケースが多いため、台風が上陸すること自体、滅多にありません。

過去10年間における全国各地の台風接近数(2014年～2023年の年間平均値)



4 「ものづくり」に適した教育機関

恵庭市や札幌市をはじめとする石狩管内には、様々な大学や専門学校があり、中でも理工系の大学や高等専門学校などは「ものづくり」に適した優秀な人材を多数輩出しています。

- 恵庭市の主な教育機関**
 北海道文教大学、北海道ハイテクノロジー専門学校、北海道エコ・動物自然専門学校
- 石狩管内の主な大学**
 石狩市 藤女子大学(花川キャンパス)
 江別市 札幌学院大学、北海道情報大学、酪農学園大学、北翔大学
 北広島市 星槎道都大学
 札幌市 北海道大学、北海道教育大学札幌校、札幌医科大学、札幌市立大学、北海学園大学、北海道医療大学(あいの里キャンパス、サテライトキャンパス)、藤女子大学、天使大学、札幌大谷大学、札幌保健医療大学、札幌大学、北海商科大学、東海大学(札幌キャンパス)、北星学園大学、北海道科学大学、札幌国際大学、日本医療大学(月寒本キャンパス)
 千歳市 千歳科学技術大学、千歳リハビリテーション大学
 当別町 北海道医療大学(当別キャンパス)
- 北海道の国立高等専門学校**
 函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校
- 資料)各種ホームページ



美しい自然と充実した都市機能を併せ持つ北海道LIFE

安心して働き、暮らせる環境

恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を背景に、早くから住宅地整備を進めると共に、公共下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備を進めてきました。

働

産業PRイベント『えにわん産業祭』



恵庭市では毎年市内および周辺都市に住む小中高生、学生と家族に対して地元の農工商業者のPRを行うイベントを開催しています。イベントでは市内に立地する農工商業者が自社商品の販売や技術の紹介を行う他、飲食店、市内高校、大学、専門学校ブースの出展も頂いており、幅広い層に恵庭の産業を紹介する機会となっています。

就職支援事業



恵庭市では、市内立地企業が直接求職者にPRを行うことで、ミスマッチ・早期離職を防止する合同企業就職説明会や、将来恵庭で働きたい高校三年生を対象とする職業説明会、高校生・大学生が市内企業の見学を行うことで市内企業の特徴を知ってもらい、地元就職を促す企業見学バスツアー「恵庭の企業探検隊」など市内企業への就職を支援・促進するために、関係機関と協力・連携し様々な事業に取り組んでいます。(一例)

暮らす



<https://eniwako-navi.com/>
 恵庭市では子育て環境も充実しています。子育て支援サイト「えにわっこなび」では、これから恵庭市で出産される方や現在子育てをしている方に向けて、親子で楽しめる施設や相談窓口など、子育てに役立つ様々な情報を発信しています。

スマートフォンをお持ちの方は [こちらから](#) ▶▶▶



パソコンの方は [えにわっこなび](#) [検索](#)

恵庭市移住・定住支援サイト



<http://www.eniwan.org/>

恵庭市では移住、定住を支援するサイト『ガーデンシティLife えにわで暮らし』を開設。恵庭市の基本情報・観光情報・イベント情報などを掲載。住民が「えにわ暮らし」の魅力を語る住民インタビューのコーナーもあり、楽しみながら恵庭市のことを知ることができます。

スマートフォンをお持ちの方は [こちらから](#) ▶▶▶



パソコンの方は [恵庭市 移住](#) [検索](#)



休日は家族で自然に触れる

恵庭市の観光を楽しむ

恵庭市内では、景勝地や体験型の施設のほか、ガーデニング鑑賞などを楽しんでいただくことができます。また、農畜産物直売所や収穫体験など「食」「農」に関するスポットやイベントが充実しているのも大きな魅力です。

花の拠点(はなふる)

2020年11月にオープンした「花の拠点(はなふる)」は、道と川の駅「花ロードえにわ」や農畜産物直売所「かのな」に加え、7つのテーマガーデンからなる「ガーデンエリア」や子どもの遊び場「えにわファミリーガーデンりあ」、「RVパーク花ロードえにわ」など、子どもから大人まで楽しめる、花のまち恵庭の新たなシンボルです。

ガーデンエリア

北海道を代表する著名なガーデンナーが手掛けた7つのガーデンで構成されるエリアです。



センターハウス

恵庭や近隣の観光情報や道内のガーデンに関する情報を取り扱う「恵庭観光案内所」と、親子で安心して楽しめる子どもの遊び場「えにわファミリーガーデンりあ」、車中泊車用施設「RVパーク花ロードえにわ」があります。



道と川の駅「花ロードえにわ」

国道36号と市内を流れる漁川の交差点に位置する道と川の駅です。



恵庭農畜産物直売所「かのな」

恵庭市内を中心とした生産者の方々が大切に育てた、採れたての野菜、山菜、花などを販売しています。



フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ

地域を歩き歩く新しい旅のスタイルの拠点として「はなふる」内に2022年5月にオープンした宿泊特化型のホテルです。

館内は無料の高速Wi-Fiをはじめ、平均21㎡とコンパクトながらシンプルでゆとりのある空間を実現した客室、木のぬくもりが溢れるロビーなどご滞在が中ゆとりとお過ごしいただけます。ホテルを拠点に、地域の人々との交流や恵庭の新たな魅力を見つける旅体験をお楽しみください。



「花のまち」恵庭でガーデニング鑑賞

恵庭市では「花のまちづくりプラン」の推進により、街をあげてガーデニングに取り組んでいます。

恵庭花とくらし展

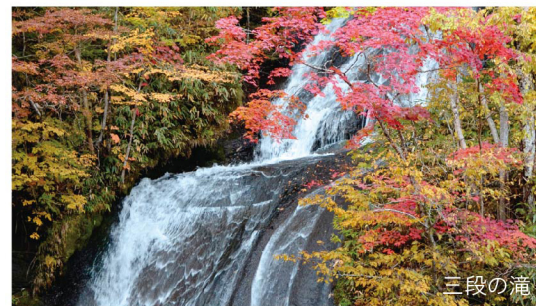
毎年6月に開催される恵庭市最大イベントの一つ。花のマーケットやガーデンツアーなど、花をテーマにした各種イベントが開催されます。



恵庭渓谷

漁川の支流であるラルマナイ川沿いにある恵庭渓谷。紅葉時には美しい景観が望めます。

- 白扇の滝 真っ白な扇を広げた様に流れ落ちる姿が優美な滝です。
- ラルマナイの滝 大木の間から雄々しく流れ落ちる姿が圧巻の滝です。
- 三段の滝 白い帯が三段になって流れ落ちる様が美しい滝です。



三段の滝

ルルマップ自然公園ふれらんど

幅広い世代の交流及び農村と都市の交流の場として平成24年4月に誕生しました。32haの広大な敷地の中に、多目的芝生広場、農園広場など多彩な施設が集まっています。



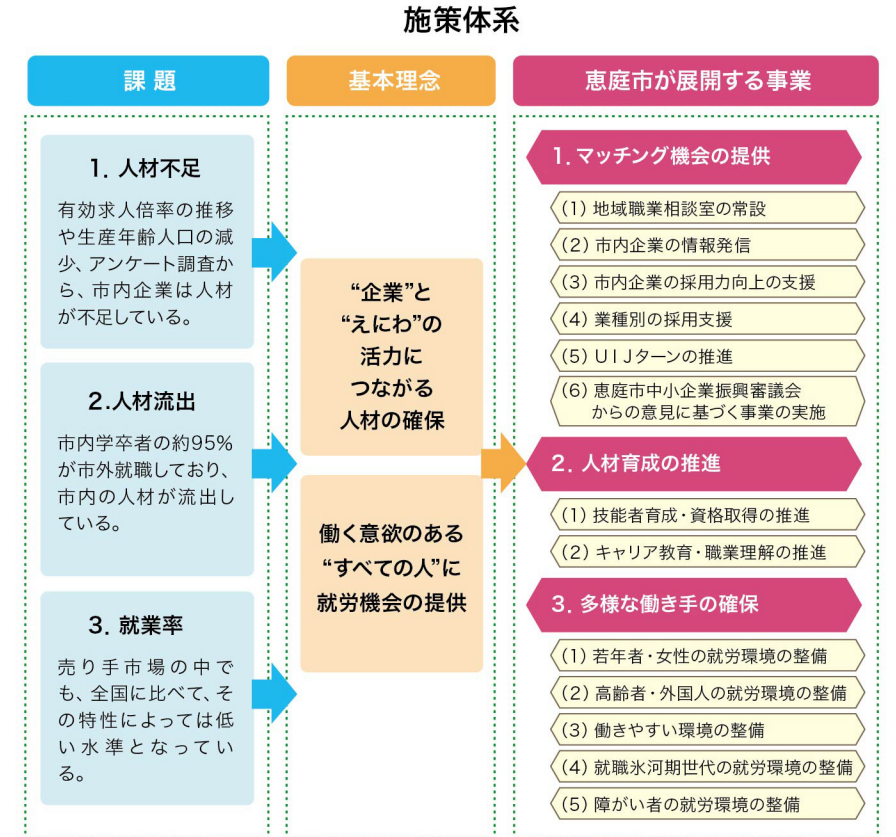
近年の恵庭市の取組み

【人材確保計画について】

近年の市内の雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止や延期を余儀なくされていた企業活動が、感染症収束により再開されたことによる雇用の回復、また、近隣市へ進出した半導体関連企業による影響などを見据えた人材確保への対策が求められています。また、引き続き、一部の業種や職種によっては人材不足となっています。

こうしたことから、平成30年度に市の各関係部局で人材確保・人材育成に関する役割について策定した「恵庭市人材確保計画」について、この度、2回目の改定を行ないました。

今後も右図の事業を展開し、引き続き企業の人材確保を支援します。



【中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画について】

先端設備等導入計画は、中小企業、小規模事業者等が、設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための計画で、中小企業等経営強化法において定められているものです。

設備を設置する事業所がある市区町村が、国から導入促進基本計画の同意を受けている場合に、当該市区町村から先端設備等導入計画の認定を受けることができます。

認定を受けた場合、固定資産税の特例等の支援を受けることが可能となります。(受けられる支援の内容によって、一定の要件があります。)

【先端設備等導入計画のスキーム】



POINT!

- 生産性向上特別措置法案に基づく「導入促進基本計画」の同意を受けた地域に新たに導入する設備が対象
- 年率3%以上の労働生産性の向上を見込む「先端設備導入計画」の認定を受けた設備投資が対象
- 生産性を高めるための設備を導入した場合、固定資産税の軽減措置により
 - ①計画内で賃上げ表明無しの場合：3年間、課税標準を1/2に軽減
 - ②計画内で賃上げ表明有りの場合：4又は5年間、課税標準を1/3に軽減

*中小企業基本法上の中小企業が対象。ただし、固定資産税の特例を利用できるのは、資本金1億円以下の法人等(大企業の子会社を除く)に限ります。

支援体制・助成制度

恵庭市企業立地促進条例に基づく助成制度

助成の対象となる業種			
業種内容	物品の製造 又は 加工施設	物流施設 道路貨物業、倉庫業及び卸売業を営む物流関連事業者が自ら使用する倉庫、配送センター又は流通に伴う簡易な加工を行う施設	試験研究施設等 研究開発、試験、分析又は検査の用に供する施設
			情報提供サービス業等 電気通信業、ソフトウェア業、情報処理、情報提供サービス業その他の情報通信、産業の用に供する施設
助成の要件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新設：投資額が5,000万円を超え、かつ市内に居住する新規雇用者が5人以上 ■ 増設：投資額が3,000万円を超え、かつ市内に居住する新規雇用者が3人以上 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新設・増設：投資額が2,000万円を超え、かつ市内に居住する新規雇用者が3人以上
助成の内容	<p>(1)工場等の新增設のために投資額をもって取得した資産に対し、3年間に限り各年度に課せられる固定資産税相額(土地分は除く。)を助成します。 限度額＝1億円(3年間の合計額)</p> <p>(2)新たに雇用した者のうち、引き続き1年間市内に居住する新規雇用者1人につき20万円を乗じた額を助成します。 限度額＝2,000万円(1回限り)</p> <p><例>工場等の新設に係る投資額が2億円で、市内に居住する新たな雇用者(新たに雇用した者のうち引き続き1年間市内に居住する場合。)が10人の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●投資額2億円 <ul style="list-style-type: none"> ① 建物の建設費 = 1億円(家屋に係る固定資産税が対象) ② 設備等設置費 = 5千万円(償却資産に係る固定資産税が対象) ③ 土地の購入費 = 5千万円(土地に係る固定資産税は対象外) ④ 雇 用 増 = 200万円(10人×20万円) 		

※当該補助金の他に、先進設備等の導入については、「生産性向上特別措置法」による固定資産税の免除が受けられることがあります。詳しくは下記お問合せ先までご連絡ください。

●お問合せ先/恵庭市経済部商工労働課 電話/0123-33-3131(内線3931、3932)

地域未来投資促進法に基づく支援策

地域未来投資促進法は、地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を集中的に支援することにより、地域の成長発展の基盤強化を図ることを目的に、平成29年7月31日に法施行されました。恵庭市では、北海道と共同でこの法律に基づく基本計画を策定し、国の同意を得ました。本制度の活用を希望する事業者は同基本計画に基づく「地域経済牽引事業計画」を作成し、北海道知事による承認を受けることで、課税の特例などの支援措置を受けることができます。※令和6年3月31日時点

承認要件(次の要件1～3を全て満たすこと)

要件1 地域の特性を活用すること(①～⑤のいずれか)

- ① 恵庭市の道央自動車道等の交通インフラを活用した物流関連分野
- ② 恵庭市の流通関連企業の集積を活用した食品製造関連分野
- ③ 恵庭市の馬鈴薯、大根、南瓜等の露地野菜等の農産品を活用した食品製造関連分野
- ④ 恵庭市の「花」によるオープンガーデンや「花とくらし展」等の観光資源を活用した観光関連分野
- ⑤ 恵庭市の道央自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野

要件2 高い付加価値を創出すること

地域経済牽引事業計画の計画期間を通じた地域経済牽引事業による付加価値増加率が3,920万円超

要件3 以下のいずれかの経済的効果が見込まれること

- 地域経済牽引事業計画の計画期間を通じた地域経済牽引事業により、促進区域内において
- ① 売上：2.2%増加
 - ② 雇用者数：1%増加
 - ③ 1常用従業員あたりの現金給与総額：13万円増加又は4%増

主な支援措置

※課税の特例措置等を活用する場合は、北海道知事による事業計画の承認に加え、国による事業の先進性等の確認が必要となります。

法人税の軽減措置(課税の特例)(国)

※問合せ先：経済産業省北海道経済産業局地域経済部地域未来投資促進室 TEL:011-709-2311(内線2553)

対象者	承認地域経済牽引事業者(国の先進性等の確認を受けた事業者)		
取得要件	投資総額 2,000万円以上		
支援内容	対象設備	特別償却	税額控除
	機械装置・器具備品	40%	4%
	上乗せ要件を満たす場合※	50%	5%
	建物・附属設備・構築物	20%	2%

- ② 設備投資額が2,000万円以上
- ③ 設備投資額が前年度減価償却費の20%以上※
- ④ 対象事業の売上高伸び率がゼロを上回り、かつ過去5年度の対象事業に係る市場規模の伸び率より5%以上高いこと
- ⑤ 旧計画が終了しており、その労働生産性の伸び率4%以上、投資収益率5%以上
※対象事業者が連結会社の場合には同一連結の範囲に含まれる他の全ての会社の減価償却費を合算すること

【課税の特例の要件】

- ① 先進性を有すること(特定非常災害で被災した区域を除く)

以下の通常類型又はサプライチェーン類型に該当すること

- 通常類型
 - ・労働生産性の伸び率が4%以上又は投資収益率が5%以上
- サプライチェーン類型
 - ・海外への生産拠点の集中の程度が50%以上の製品を製造
 - ・事業を実施する都道府県内の取引額の増加率が5%以上

<上乗せ支援の要件>

- 以下の⑥⑦を満たすこと(2019年4月1日以後に承認を受けた事業者が対象)
- ⑥ 次の(ア)又は(イ)のどちらかを満たすこと
(ア)直近事業年度の付加価値額増加率が8%以上
(イ)対象事業において創出される付加価値額が3億円以上、かつ、事業を実施する企業の前事業年度と前々事業年度の平均付加価値額が50億円以上(2023年4月1日以後に承認を受けた事業者が対象)
 - ⑦ 労働生産性の伸び率4%以上かつ投資収益率5%以上
※サプライチェーン類型・災害特例の事業は上乗せ要件の対象外

不動産取得税の免除(道)

※問合せ先：北海道経済部産業振興局産業振興課 TEL: 011-204-5328

対象者	承認地域経済牽引事業者(国の先進性等の確認を受けた事業者)	
要件	地域経済牽引事業の用に供する土地・建物の取得価額の合計額が農林漁業及びその関連業種は5,000万円超、それ以外の業種は1億円超	
支援内容	不動産取得税	課税免除

固定資産税の免除(市)

※問合せ先：恵庭市経済部商工労働課 TEL:0123-33-3131(内線3931・3932)

対象者	承認地域経済牽引事業者(国の先進性等の確認を受けた事業者)	
要件	地域経済牽引事業の用に供する土地・建物・構築物の取得価額の合計額が農林漁業及びその関連業種は5,000万円超、それ以外の業種は1億円超	
支援内容	以下の固定資産税の課税免除(3年間) →家屋・構築物・当該家屋又は構築物の敷地である土地	課税免除

北海道産業振興条例に基づく企業立地の促進を図るための助成の措置

北海道経済構造の転換を図るための企業立地の促進及び中小企業の競争力の強化に関する条例(通称 北海道産業振興条例)に基づく助成内容は次のとおりです。(平成20年4月1日施行)

(令和4年4月1日現在)

類型	分野	対象業種(事業)	対象地域	補助要件 ・投資額 ・雇用増 注1	新設 増設	助成内容 注10		
						助成額 注2	限度額	通算限度額
類型Ⅰ	成長産業分野	自動車関連製造業 宇宙・航空機関連製造業 注5 高機能素材・複合材料関連製造業 注5	全道 (札幌市を除く。) (植物工場は、工業団地と工場適地を対象とする。 (札幌市を除く。))	5億円以上 20人以上	新設	投資額の10%	15億円 注11	20億円 同一企業につき
		増設			投資額の5%	5億円		
		電気・電子機器製造業 医薬品製造業 食関連産業 植物工場 新エネルギー関連製造業			新設	投資額の10%	10億円 注11	13億円 同一企業につき
					増設	投資額の5%	3億円	
		新エネルギー供給業 ※市町村支援の対象であること。			新設	投資額の5%	1億円	1億5千万円 同一企業につき
					増設	投資額の2.5%	5千万円	
		データセンター事業			新設	投資額の10%	一般型 3億円 環境配慮型 5億円	一般型 4億5千万円 環境配慮型 7億5千万円 同一企業につき
					増設	投資額の5%	一般型 1億5千万円 環境配慮型 2億5千万円	
		基盤技術産業			新設	投資額の10%	3億円	13億円 同一企業につき
					増設	投資額の5%		
本社機能移転事業	(設備投資)	全道 (札幌市を除く。)	1億円以上 20人以上	新設	投資額の10%	1億円	—	
	(賃借)	全道	(投資額要件なし) 20人以上(札幌市は30人以上)	新設	1年間の賃料の1/2 ×3年間(札幌市は1年間)	1千万円/年	—	
発展基盤施設分野	自然科学研究所 ※成長産業分野に関連する業種に限る。 高度物流関連事業 注12 ※成長産業分野に関連する事業に限る。	全道 (札幌市を除く。)	10億円以上 研究員5人以上 5億円以上 研究員5人以上	新設	投資額の10%	10億円	13億円 同一企業につき	
				増設	投資額の5%	3億円		
			20億円以上 20人以上	新設	投資額の10%	5億円	6.5億円 同一企業につき	
				増設	投資額の5%	1.5億円		
類型Ⅱ	市町村連携促進分野	・製造業 ・自然科学研究所 ・高度物流関連事業 注12 ・データセンター事業 ・IT産業(ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット付随サービス業) ・コールセンター事業 ・植物工場 ※市町村が行う立地助成措置の対象であること。	特別対策地域 注6	2,500万円以上 5人以上	新設 増設	投資額の4%	1億円	投資助成 3億円 同一企業につき
						雇用増1人あたり 50万円(雇用増が6人以上の場合6人目から支給)	5千万円	
			うち、特別対策地域と、地域未来投資促進法適用地域が重複する地域 注8・注9	2,500万円以上 5人以上	新設	投資額の8%	1億円	
						雇用増1人あたり 50万円(雇用増が6人以上の場合6人目から支給)	5千万円	
			地域未来投資促進法適用地域 注8・注9	2,500万円以上 5人以上	新設	投資額の4%	1億円	
						雇用増1人あたり 50万円(雇用増が6人以上の場合6人目から支給)	5千万円	
工業団地(札幌市を除く。) (製造業又は植物工場に限る。) (植物工場は、工業団地と工場適地を対象とする。 (札幌市を除く。))	5,000万円以上 5人以上	新設 増設	投資額の8%	1億円				
			投資額の4%					

- 注1 雇用増の人数には、工場等の新設又は増設に伴い増加する雇用者の人数に、知事が認める出向者1人を加えることができます。
類型IIにおいては、雇用増の「5人以上」には、補助対象施設と一体的に事業を行う施設の雇用増(2名まで)を含むことができます。
- 注2 省エネルギーを目的とした先進的な設備の導入又は新エネルギーの活用により、工場等全体のエネルギー消費量を10パーセント以上低減することが見込まれるものとして知事が認めた工場等(以下、「環境配慮型工場等」という。)については、「助成額」欄の所定の助成率に1パーセントを加算します(類型Iのデータセンター事業と本社機能移転(賃借)を除く。)。ただし、その場合であっても「限度額」は変わりません(加算されません)。なお「通算限度額」には、加算額は含まれません。
- 注3 助成額が投資額を上回る場合は、投資額を助成額とします。
また、他の補助制度により補助を受けている場合、類型IIにおいて市町村が行う立地助成措置の助成内容を上回る場合などにおいては、助成額を調整することがあります。
なお、債務超過の状況にある等の理由により、継続的な事業の実施が困難であると認められるときは助成しない場合があります。
- 注4 認定事業者は、一つの立地計画ごとに、類型I又は類型IIの対象業種(事業)のうちいずれかの業種の補助金の交付を受けることができます。
- 注5 地域未来投資促進法第13条第4項の承認を受けた事業者で、知事が特に必要と認める事業に限る。(有識者会議による意見聴取を踏まえ、高い経済波及効果等が認められたもの。)
- 注6 特別対策地域とは、農村地域への産業の導入の促進等に関する法律などの地域関係開発法の適用地域です。詳しくは別図をご覧ください。
- 注7 環境配慮型データセンターとは、雪氷、太陽光等の自然エネルギーを活用することにより、空調設備の消費電力を通常のデータセンターに比して20パーセント以上低減する設備を有すると知事が認めるものをいいます。
- 注8 札幌市の区域にあっては、特任事業者が新設する場に限り、
9 特任事業者とは、地域未来投資促進法第13条第4項の規定による知事の承認を受けた事業者で、経済的効果が特に高いと知事が認める新設をするものです。
- 注10 補助金は、10年以内で分割して交付することがあります。
- 注11 雇用増に応じた上限スライド制を適用します。雇用増に応じた上限スライド制とは、雇用増の人数に応じて限度額を設定するものです。

自動車関連製造業、宇宙・航空機関連製造業、高機能素材・複合材料関連製造業		電気・電子機器製造業、医薬品製造業	
雇用増	限度額	雇用増	限度額
20人以上50人未満	5億円	20人以上50人未満	5億円
50人以上100人未満	10億円	50人以上	10億円
100人以上	15億円		

注12 高度物流関連事業については、施設設置者等と物流事業者が異なる場合であっても補助対象となる場合があります。

札幌市補助制度

札幌市を中心とした圏内に「試験・研究・開発施設」「工場」「物流施設」「データセンター」等の新設・増設をするために、土地・家屋・償却資産への設備投資を行う企業に対する補助制度です。

札幌市 札幌圏設備投資促進補助金

適用地域

札幌圏(札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、南幌町)

対象

業種	製造業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、学術研究・専門・技術サービス業
施設	対象施設:対象業種の試験・研究・開発施設、工場、物流施設、データセンター 重点施設:対象業種のうち以下の分野の試験・研究・開発施設、工場、人材育成施設、データセンター

- 《食関連分野》食料品、機能性食品 など
- 《先端技術分野》健康、医療(医薬品、医療機器、バイオ など)
- ・環境、エネルギー(再生可能エネルギー、新エネルギー、蓄電池、次世代自動車など)
- ・その他(ロボット、航空・宇宙、高温超電導、ナノテクノロジー、高機能素材 など)

制度概要(札幌市外)

補助要件		補助内容		限度額
・設備投資額(土地を除く)3億円以上 ・札幌圏内に本社、既存重点施設がないこと ・立地先自治体による設備投資助成が適用されること ・立地先自治体を除く札幌圏内で既存対象施設の廃止・縮小を行わないこと	新設	重点施設	固定資産税 ※ 課税標準額 × 10% (土地分を除く)	5億円
			※ただし、立地先自治体による設備投資助成相当額(土地分を除く)まで	

- ・新設、増設、市内移転により取得した固定資産税の課税対象になる土地・建物・償却資産が対象です。
ただし、申請6か月前以前に取得した土地は対象になりません。
- ・特定流通業務施設の家屋・償却資産は課税標準額ではなく固定資産税評価額を基に補助金額を算出します。
- ・特例施設を除く増設・市内移転の場合、家屋及び償却資産については固定資産税課税標準額(ただし、特定流通業務施設は、固定資産税評価額)の増加分により補助金額を算出します。

その他要件

- ・設備投資は、家屋の新・増築、取得、賃借を伴うものであること(機械設備の増設・更新のみでは対象になりません)。
- ・当該企業等(またはその親会社)が、引き続き1年以上操業していること。
- ・設備投資計画を公表する前に、札幌市と協議(相談)すること。
- ・家屋の着工・取得・賃貸借契約締結前に申請すること。
- ・補助の指定期間の初年度から起算して10年度間は、当該施設で事業を継続すること。

お問い合わせ先

札幌市 経済観光局 立地促進係

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL 011-211-2362 / FAX 011-218-5130

札幌市 東京事務所

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10-1 東京交通会館3階
TEL 03-3216-5090 / FAX 03-3216-5199

URL <https://www2.city.sapporo.jp/invest/>

Email business@city.sapporo.jp (共通)



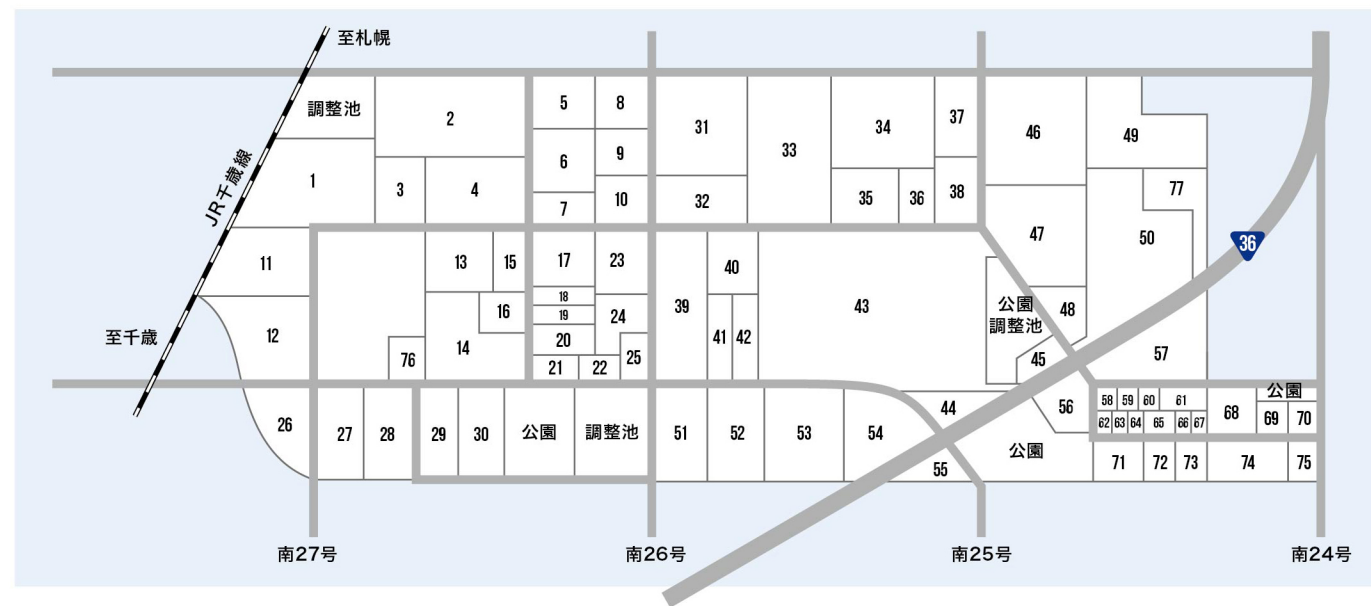
先進的な設備と快適なアクセスが、未来の技術を切り開く

恵庭テクノパーク



(株)紀文食品 [恵庭工場] 国分(株) [恵庭流通センター]

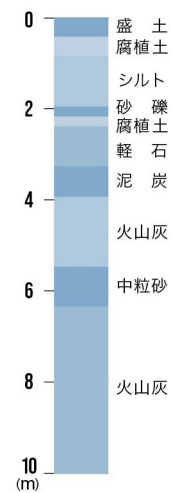
恵庭テクノパークは全国で史上初の土地信託方式を利用した工業団地です。新千歳空港と札幌市の中間に存在しており、JR恵庭駅や高速道路(恵庭インター・チェンジ)までの距離が近いなど、アクセスの面で非常に利便性の高い工業団地です。また取水や電気、通信(インターネット回線)などの設備面も充実しており、現在も多くの企業が操業しています。



立地企業一覧

1 エバープラスマテリアル(株)	28 共和コンクリート工業(株)	56 野村電気(株)
2 (株)シズナイロゴス	29 (株)京都セミコンダクター	57 北海道いすゞ自動車(株)
3 サッポログループ物流(株)	30 (株)京都セミコンダクター	58 北海道和光純薬(株)
4 東網商事(株)	31 サンマルコ食品(株)	59 (株)辰和運輸
4 サンゴ北海道(株)	32 オルソン(株)	60 尾崎設備工業(株)
5 北燃商事(株)	33 (株)紀文食品	61 サンエー工業(株)
6 ダイホク工業(株)	34 (株)シズナイロゴス	62 (有)大川ステンレス工業
7 三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジー(株)	35 (株)キムラリース	63 さとう住設工業(株)
8 北燃商事(株)	36 (株)デザートランド	64 (株)キクザフ
9 日本フェニックス工業(株)	37 トヨタL&F札幌(株)	65 街道建設(株)
9 旭新運輸開発(株)	38 (株)やまぐち食品	66 日栄興業(株)
10 (株)ファームテックジャパン	39 (株)健信	67 (有)北清建設
11 北新金属工業(株)	40 地崎道路(株)	68 (株)NIPPO
12 北新金属工業(株)	41 岩見沢通運(株)	69 (株)ハイテックシステム
13 キョーワ(株)	42 石川板金(株)	70 (有)野田容器
14 国分(株)	42 石川金属工業(株)	71 (株)ティーアール・ネットサービス
15 イーピーエス商運(株)	43 レンゴー(株)	72 (株)小林舞台システム
16 戸田工業(株)	44 レンゴー(株)	73 恵庭環境保全事業協同組合
17 (株)ほくやく	45 (株)きやろっと	74 日本エア・リキード(同)
18 相互建材工業(株)	46 (株)明治	75 (有)恵庭清掃社
19 協和技研(株)	47 (株)エフピーエス	76 (株)ほんま
20 戸田工業(株)	48 レンゴーロジスティクス(株)	77 ユート運輸倉庫(株)
21 (株)エースランドリー	49 森産業(株)	
22 (株)北海道クボタ	50 全日食チェーン全日本食品(株)	
23 (株)丹波屋	51 エム・エス・ケー農業機械(株)	
24 (株)モロオ	52 通央農業協同組合	
25 恵庭マテリアル(株)	53 (株)HAL GREEN	
26 (株)新薬リサーチセンター	54 クレトイシ(株)	
27 メテック(株)	55 札幌牛乳運輸(株)	

地質



交通アクセス



概要

所在地	恵庭市戸磯	容積率	200%以下	排水 排水条件	A種 市公共下水道
総面積	127.1ha	地質・地盤	地質 第2種	電力 変電所	恵南変電所まで1キロ
分譲面積	89.1ha(完売)		N値 20~30	高圧線	高圧線6.6kV
用途地域	工業専用地域		杭打可能な地盤までの深さ 10m	通信 インターネット	光・ADSL
建ぺい率	60%以下	用水	上水道 取水可能量2,000m ³ /日 地下水 取水可能量2,160m ³ /日		

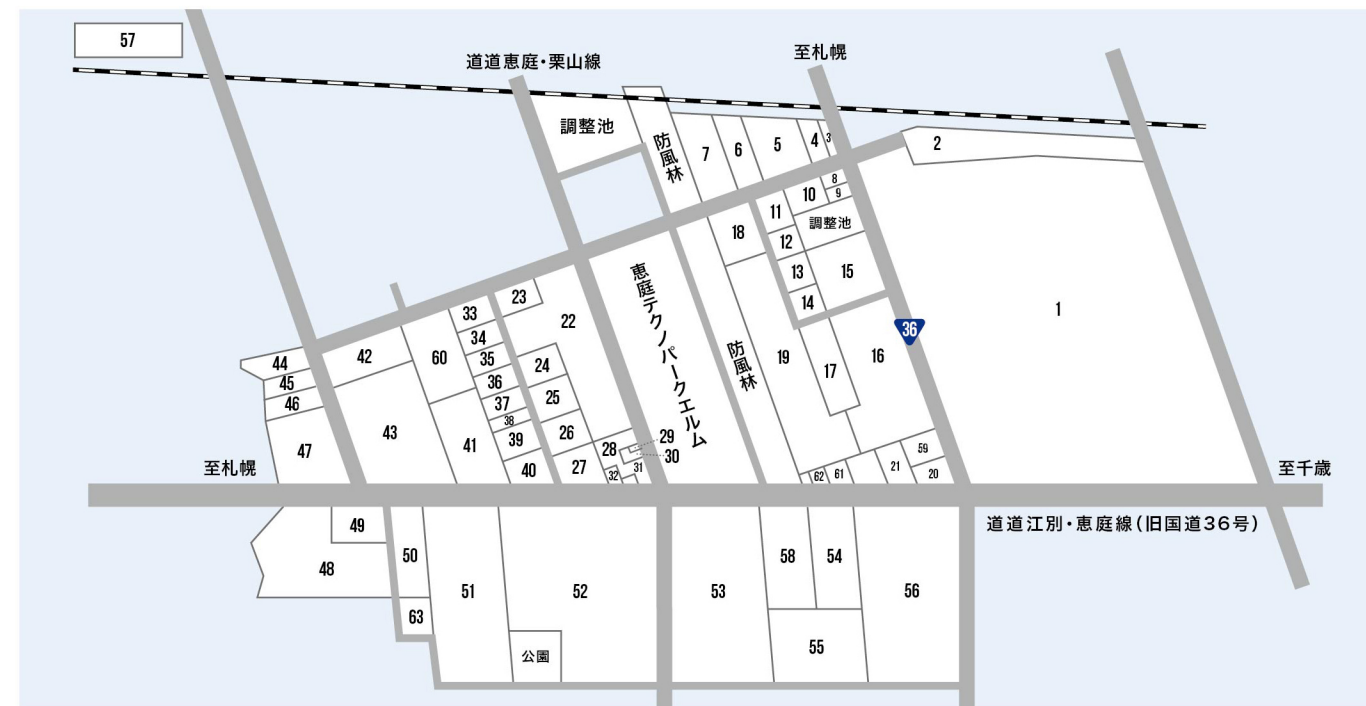
道外へのアクセス性に優れた、広大な生産拠点

戸磯・恵南工業団地



(株)ロバパン [恵庭工場] (株)トーウン [北海道事業部恵庭倉庫]

戸磯・恵南工業団地は恵庭市の工業団地の中では最も新千歳空港及び苫小牧港に近く、道外へのアクセス性が抜群に優れています。また敷地面積も広く、大型の食料品工場や飲料品工場が操業しています。



立地企業一覧

1 サッポロビール(株)	23 日重建設(株)	44 (株)セイフ・オプト
2 北海道電力ネットワーク(株)	24 郷土建設(株)	45 山光運輸(株)
3 フロバン荷役(株)	25 (株)山田車輛	46
4 ダイホク工業(株)	26 日重建設(株)	47 とんでん(株)
5 アース(株)	26 尾崎設備工業(株)	48 (株)ロバパン
6 (有)エルム設備	27 恵庭建設(株)	49 (株)エフピーエス
6 室蘭海陸通運(株)	28 (有)阿部製作所	50 合同酒精(株)
7 (株)共成レンテム	29 信成ホーム(株)	50 ヤマト運輸(株)
8 (有)エルム設備	30 (株)アポロライン	51 (株)合通ジェイトラ
9	30 (有)アプロロジスティクス	51 カネカ食品(株)
10 大建産業(株)	31 荒川産業(有)	52 山崎製パン(株)
11 室蘭海陸通運(株)	32 (株)フラッツ	53 北海道カネライト(株)
12 (株)三英社製作所	33 北栄運輸(株)	53 カネカ北海道スチロール(株)
13 北ガスジェネックス(株)	34 (有)日崎ブロック建設	53 (株)羽根
14 ダイワ整備機工(株)	35 (株)樽前工業	54 SBS東芝ロジスティクス(株)
15 ミツ輪運輸(株)	36 (株)玉川組	55 東芝電波プロダクツ(株)
16 ゴールドバック(株)	37 (株)玉川組	56 武田和(株)
17 (株)トーウン	38 (株)ホシボデー	57 北海道吉野石膏(株)
18 (株)三英社製作所	39 (株)玉川組	58 (株)電動舎
19 ユニマイクロンジャパン(株)	40 (株)協生産業リース販売	59 (株)エスシー・マシーナリ
20	41 (株)戸田運輸	60
21 (株)TFT	42 (株)米澤通商	61
22 (株)よねざわ工業	43 森永乳業(株)	62
		63 旭新運輸開発(株)

概要

所在地	恵庭市戸磯・恵南	容積率	200%以下	電力 高圧線	高圧線6.6kV
分譲面積	130.8ha(完売)	用水 上水道	市上水道	通信 インターネット	光・ADSL
用途地域	工業専用地域・準工業地帯(第3種特別工業地区)	排水 排水条件	A種 市公共下水道		
建ぺい率	60%以下				

交通アクセス



多様性と利便性がビジネスチャンスを生み出す

恵庭工業団地



(株)アレフ [北海道工場] (株)コーンズ・エージー [本社]

恵庭工業団地は旧国道36号に接しており、恵庭市内にある工業団地の中では、札幌市から近い位置にあります。また食品製造業から運送業、建設業、製造業、自動車関連業など、多種多様な企業が操業しています。



立地企業一覧

1 (株)堀川	21 (有)共栄製作所	45 恵庭市学校給食センター
2 (株)灘商	22 三和ミタカ(株)	46 (一財)恵庭市学校給食協会
3 (株)トセキ北海道	22 ヤナセ製油(株)	46 伊藤組土建(株)
4 (株)野口製作所	23 合同容器(株)	47 (有)加藤石材店
5 (有)トーホー	24 クラヤ紙工(株)	47 クリーン化学工業(株)
6 日特建設(株)	25 住商メタルワン鋼管(株)	48 三新輸送(株)
6 (有)エムズテクノ	26 ニチレキ(株)	49 (株)恵庭クリーンサービス
7 (株)伊藤鉄工所	27 北榮興業(株)	50 (有)ビジネス・サポート
8 (株)北海道シントー	28 北榮興業(株)	51 (株)けいしん水道設備
9 恵庭アサノコンクリート(株)	29 ヒナタフーズ(株)	52 (有)光和メタル
10 トヨタカラー札幌(株)	29 ファーマーズファクトリー(株)	53 松井電機工業(株)
11 (有)アサノ設備工業	30 富士レンタル(株)	53 (有)石栗製作所
12 テーオー運輸(株)	31 ジョテック(株)	54 北海道衛生工業(株)
13 北海道通運(株)	32 ファーマーズファクトリー(株)	55 嘉屋興業(株)
14 (株)石黒鋳物製作所	33 中国塗料(株)	56 北海道衛生工業(株)
15 松本自動車工業(株)	34 (株)コーンズ・エージー	57 タイヤ館恵庭
16	35 (株)システムハウスアールアンドシー	58 渥美工業(株)
17 (株)コーンズ・エージー	36 タキロンシーアイシビル(株)	
18 トヨタカラー札幌(株)	37 デリシャス(株)	
19 (株)中川製作所	38 (株)アレフ	
20 (株)コーンズ・エージー	39 (株)プレスヤード	
21 三和シャッター工業(株)	40 (株)松尾興匠	
21 (株)特殊発條製作所	41 (有)佐藤ブロック工業	
21 三新輸送(株)	42 北海道日野自動車(株)	
21 (有)三誠工業	43 (株)カナモト	
21 (株)札幌鋼建工作所	44 北陽紙工(株)	

概要

所在地	恵庭市北柏木3丁目	容積率	200%以下	電力	高圧線 高圧線6.6kV
分譲面積	66.1ha(完売)	用水	市上水道	通信	インターネット 光・ADSL
用途地域	工業専用地域	排水	排水条件 A種 市公共下水道		
建ぺい率	60%以下				

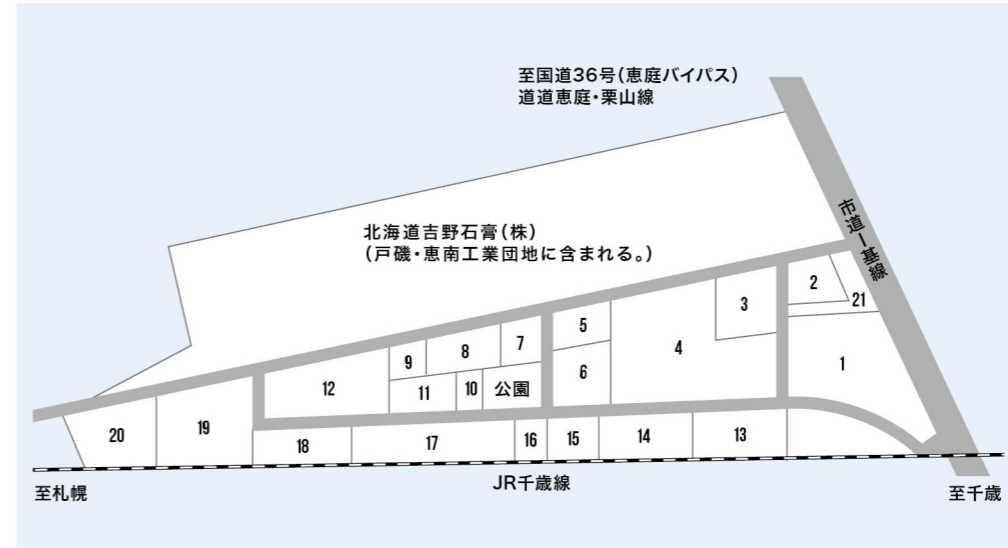
交通アクセス

新千歳空港 (22km)	車で 27分
JR恵み野駅 (1.5km)	車で 2分
恵庭I.C. (3.8km)	車で 9分

新興住宅地に隣接し駅も至近。職住近接の郊外型工業団地

戸磯軽工業団地

戸磯軽工業団地は、恵庭市の新興住宅地である黄金地区に位置しています。快速列車停車駅のJR恵庭駅からもほど近く、また恵庭市街にも近接しているので、通勤環境には非常に恵まれた工業団地と言えます。



立地企業一覧

- 1 恵庭まちづくり協同組合
- 2 (株)まるは製麺所
- 3 (株)まるは製麺所
- 4 (株)AKCompany
- 5 ミツシ(株)
- 6 (有)コンプリート
- 7 (株)歳桃組
- 8 エニーズミルクセンター
- 9 (株)川瀬工務店
- 10 (有)小林建築
- 11 (株)高橋金型製作所
- 12 中里建設運輸(株)
- 13 日栄重工(株)
- 14 千歳交通(株)
- 15 (株)松田工業
- 16 (有)ツボタ鐵工所
- 17 日進堂印刷(株)
- 18 丸豊陸運(株)
- 19 (株)岡田建具製作所
- 20 (株)拓恵
- 21 (株)松田工業

概要

所在地	恵庭市黄金南1丁目
分譲面積	4.6ha(完売)
用途地域	工業地域 第1種特別工業地区
建ぺい率	60%以下
容積率	200%以下
用水	市上水道
排水	排水条件 A種 市公共下水道
電力	高圧線 6.6kv
通信	インターネット 光・ADSL

交通アクセス

新千歳空港 (14km)	JR恵庭駅 (1.1km)
車で 17分	車で 2分
恵庭I.C. (5.2km)	
車で 7分	

閑静な住宅街と幹線に近接した好立地が次代を育む

島松工業団地

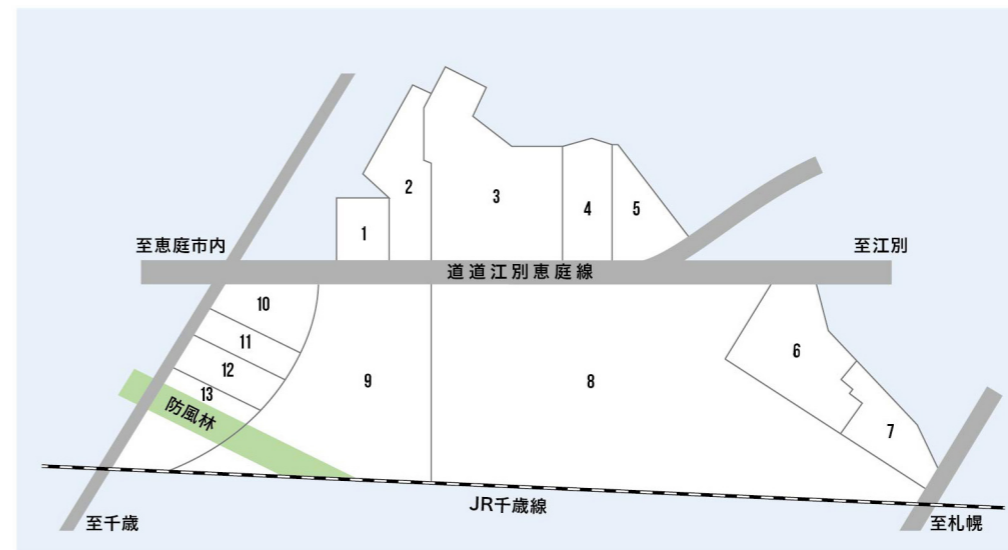
由緒ある島松地区に位置する島松工業団地は、閑静で自然溢れる島松の住宅街に近接しています。また道央部の物流において、主要なルートのひとつとなっている道道江別恵庭線、そしてJR島松駅にも近接しており、大都市札幌へのアクセスも非常に便利です。

概要

所在地	恵庭市島松
分譲面積	11.3ha(完売)
用途地域	工業地域 第1種特別工業地区
建ぺい率	60%以下
容積率	200%以下
用水	市上水道
排水	排水条件 A種 市公共下水道
電力	高圧線 6.6kv
通信	インターネット 光・ADSL

交通アクセス

新千歳空港 (25km)	JR島松駅 (500m)
車で 30分	車で 1分
恵庭I.C. (12km)	
車で 15分	



立地企業一覧

- 1 (有)寿運輸
- 2 北海道北三(株)
- 3 (株)トランス
- 4 (株)北広島輸送
- 5 (株)千葉北エンタープライズ
- 5 (有)明日朝観光バス
- 6 (株)ニレミックス
- 7
- 8 石上車輛(株)
- 9 石上車輛(株)
- 10 (株)浅井総行
- 11 恵庭ビジネス(有)
- 12 (有)森田倉庫
- 13 (株)三和鋼建

高いアクセス性を誇る、市で最も新しい工業団地

戸磯南工業団地

令和元年度に造成した戸磯南工業団地は、昭和63年に分譲を開始した恵庭テクノパーク以来となる新しい工業団地です。北海道の物流拠点である新千歳空港、苫小牧港と札幌市を結ぶ国道36号に面しており、高いアクセス性を誇ります。また、サッポロビール庭園駅からも徒歩1分と近接しており、通勤のし易さも魅力です。



立地企業一覧

- 1 横浜冷凍(株)
- 2 (株)久原本家食品
- 3 佐藤木材工業(株)

概要

所在地	恵庭市戸磯	容積率	200%以下	電力	高圧線	6.6kV
分譲面積	16.8ha(完売)	用水	上水道			
用途地域	工業専用地域(地区計画有)	排水	排水条件	A種 市公共下水道		
建ぺい率	60%以下	恵南変電所まで500m				

交通アクセス

新千歳空港(12km)
 車で **16分**
 JRサッポロビール庭園駅(110m)
 徒歩 **1分**
 恵庭I.C.(5.8km)
 車で **10分**

国道36号に隣接。恵庭I.C.にも至近で交通アクセスが魅力

タクト恵庭流通団地

タクト恵庭流通団地は、札幌市に最も近い工業団地です。国道36号に隣接し、また恵庭インターチェンジへの距離も近いことから、道内各方面への迅速な輸送を可能とする立地条件が最大の魅力です。



立地企業一覧

- 1 (株)ホンダデボックス
- 2 日本ニューホランド(株)
- 3 (株)るくじゅう
- 4 DCMホームマック(株)
- 5 テーオー運輸(株)
- 6 (株)共同物流
- 7 (株)辰和運輸
- 8 北日本トランスポート(株)
- 9 日本通運(株)(NX-TECT Hokkaido)
- 10 DCMホームマック(株)
- 11 (株)辰和運輸
- 12 (株)Jパーク

概要

所在地	恵庭市北柏木町
分譲面積	12.1ha(完売)
用途地域	準工業地域(第3種特別工業地区)
建ぺい率	60%以下
容積率	200%以下
用水	上水道
排水	排水条件
電力	高圧線
通信	インターネット

交通アクセス

新千歳空港(22km)
 車で **27分**
 JR恵み野駅(1.5km)
 車で **3分**
 恵庭I.C.(4.8km)
 車で **9分**

陸・海・空、道央圏の高度な輸送機能を持った工業団地

恵庭テクノパークエルム

恵庭テクノパークエルムは、JR 千歳線と旧国道36号に隣接した位置にあります。また新千歳空港・苫小牧港にも近く、陸・海・空三位一体の高度な輸送網を持ち、多様なニーズにお応えできます。

概要

所在地	恵庭市戸磯
分譲面積	6.7ha(完売)
用途地域	工業専用地域
建ぺい率	60%以下
容積率	200%以下
用水	上水道
排水	排水条件
電力	高圧線
通信	インターネット

交通アクセス

新千歳空港(12km)
 車で **16分**
 JRサッポロビール庭園駅(600m)
 車で **2分**
 恵庭I.C.(4.7km)
 車で **8分**

立地企業一覧

- 1 網走バス(株)
- 2 (株)日立製作所
- 3 エンバイヤ自動車(株)
- 4 (株)オカダ
- 5 (株)島田工業
- 6 日建片桐リース(株)
- 7 (株)館花

